

グラビア	地域を支える人 去石一良さん・宮古市都市整備部都市計画課	1
発掘！地域の希望のタネ	和歌山県伊都郡九度山町〈真田ゆかりの地、九度山〉	5
給食のじかん	〈ホッキカレー〉 苫小牧市第二学校給食共同調理場 小林千鶴＋土橋諒子	6
	震災五年後の今を生きる	8
焦点	辺野古埋め立て承認の違法性 —国際人権法の基準を適用して	島袋 純 10

特集 震災五年後の今を生きる

座談会	あの日から五年 伊藤裕一＋小野寺伸浩＋竹岡博之＋ 被災した沿岸部の今 浅野進太郎＋坂本興久＋座光寺成夫	16
メッセージ	被災地からの声●福島から	26
	東北からうまれた希望 津田知子 —“Speaking Out From Tohoku～子どもの参加でより良いまちに～”	29
	事前復興が開く新たな防災対策の地平 市古太郎	36
	住民主体の事前復興まちづくり—徳島県美波町 浜大吾郎	46
書評	永田久美子監修『認知症の人たちの小さくて大きなひと言』菅原敏夫	51
さき咲き コラム	マイナス金利と法制局文書を質す 江崎 孝	52
特別報告	飲み歩き! 食べ歩き! 『津うのドまんなかゾバル』 増田芳則	54
自治研チャレンジ サポートのススメ	単組をめぐり「じちけん」活動を発見! 河合克樹＋佐野ひかる —静岡県本部編 (その2)	60
宮城自治研に 向けて	宮城自治研 レポート募集中!	62
地域包括ケア の現場力	『誰もが、住み慣れた家で、地域で、安心して 暮らし続けることができる社会』を作るために 井上信宏	64
連載	『月刊自治研』を読む●革新自治体の組合 (その二) 篠田 徹	73
	自治研センターの機関誌案内	79
	次号予告・編集部から	80

震災五年後の今を生きる

3・11から五年という節目に、復興に向けての努力が続く被災地の抱える今の課題や、やがてくる大規模災害に備えるための防災の取り組みを、紹介します。

座談会 沿岸部が被災した 自治体の今

東日本大震災による津波で沿岸部に深刻な被害を受けた岩手、宮城、福島、茨城、千葉の五県、自治体職員という組合ならでの立場から、復興に向けた取り組みとそのなかで感じた課題などを語っていただきます。(本誌一六頁)



被災地からの声 福島から

東北三県の被災地の組合員から寄せられた全国へのメッセージをご紹介します。(本誌一六頁)



岩手県陸前高田市 山田町、宮城県石巻市 3・11から生まれた希望

子どもたちの意見をまちづくりに反映させてきた「Speaking Out Tohoku」。被災地で、子どもたちが一人の市民として未来を見据え、まちづくりに取り組んでいます。(本誌一九頁)



3・11の教訓は 活かされているか

3・11という未曾有の経験から何を学ぶのか。まちづくりと防災の連携による事前復興まちづくりの取り組みから、自治体の新たな防災対策を考えます。(本誌三六頁)

徳島県美波町 住民主体の 事前復興まちづくり

南海トラフ大地震での衝撃的な被害想定から、就職や進学、結婚を機に転出する「震災前過疎」という現象に立ち向かおうと、「事前復興まちづくり」がスタートしています。(本誌四六頁)

